

委員会調査(研修)報告書

NO.

令和 7 年 8 月 7 日

胎内市議会議長
八 幡 元 弘 様

(報告者)
総務文教常任委員会
委員長 笥 智 也

総務文教常任委員会視察研修 について、
議会会議規則第 1 1 0 条により、下記のとおり報告します。

調査・研修 日 時	自 令和 7 年 7 月 28 日 至 令和 7 年 7 月 30 日 2泊 3日 (3日間)	調査・研修 場 所	・群馬県太田市 ・神奈川県秦野市
調 査 ・ 研 修 事 項	・小中学校体育館エアコン整備について（太田市） ・秦野市総合防災情報システムについて（秦野市） ・はだの歴史博物館について（秦野市）		
調 査 ・ 研 修 出席者(参加者)	委員長 笥智也 副委員長 坂上清一 丸山孝博 渡辺宏行 天木義人 渡辺栄六 小野徳重 佐藤武志 羽田野孝子 渡辺雅茂		
相手方(対応者)	太田市：議会事務局 局長 瀬古茂雄 橋本麻衣子 学校施設管理課 課長 山田正和 秋山新次 斎藤達之 太田市立北の杜学園 校長 関口義明 副校長 赤石 岡崎 秦野市：副議長 原聡 防災課 古関一仁 議会事務局 秋池慎太郎 議事政策課 課長 上條秀香 生涯学習課 課長 水島一葉 はだの歴史博物館 館長 林修也 大倉潤		

調査の結果または概要

○群馬県太田市（7月28日（月）13:30～15:00）

・小中学校体育館エアコン整備について

太田市では、近年の猛暑対策への設置要望がある中、コロナ禍での換気の必要性やマスク着用による体育館での授業時の熱中症対策を考慮し、部活動がある中学校から先行して工事を開始し、2カ年（一部納期遅延により工期延長）で小中学校と義務教育学校41校全てにエアコン設置を完了させた。

令和4年度に、庁内職員による自主設計で、コロナ交付金を使用して国庫補助100%で中学校17校18棟の工事を完了。令和5年度には設計業務を委託して小学校25校25棟の設置を完了した。

○神奈川県秦野市（7月29日（火）14:00～15:30）

・秦野市総合防災情報システムについて

秦野市では、『「指示待ち」避難から「自分で決める」避難へ』を目標にかかげ、避難が必要な市民の主体的な避難行動を最大限支援するために、防災情報の発信システムの仕様の検討をシステム会社と共に進め、令和4年7月より運用開始している。

内容は、現在地の浸水想定区域や土砂災害警戒区域のマップ上での確認や土砂キクル情報、土砂災害や浸水害、道路冠水等による通行止めなどの被害状況、避難所の開設や避難者数状況などであり、リアルタイムな情報が取得できる。

○神奈川県秦野市（7月30日（水）9:00～10:00）

・はだの歴史博物館について

桜土手古墳公園に併設された桜土手古墳展示館が、開館30周年を迎えた令和2年に、考古専門の博物館から郷土の歴史・文化全般を広く紹介する総合的な歴史博物館としてリニューアルオープンした。

調査の所見・感想

○群馬県太田市（7月28日(月) 13:30～15:00)

・小中学校体育館エアコン整備について

工事を計画するに際し年度途中からのスタートであったため、専門知識と技能を持つ職員による自主設計とすることで、設計委託料もなくスピード感をもった工事となり、年度内に予定校舎全校が完了したとのこと。翌年度は工事個所の増加により設計も委託となっている。

工事箇所の現状に併せて電気式とガス式を採用しており、それぞれイニシャルコストからランニングコストに優位性を持つが、災害時にはガス式が有利とのことであった。

建物に対する断熱対応はなく、体育館床から高さ2.5mまで冷気がある状況を当初目標として設計しており、起動から30分程度で十分な冷気を確保できるとのこと。夏季ばかりでなく冬季においても、感染症対策での換気等での室温低下にも対応できており、災害時の避難所機能としても効果が期待される。

当市も近年気温上昇が顕著である故、検討すべきと感じた視察であった。

○神奈川県秦野市（7月29日(火) 14:00～15:30)

・秦野市総合防災情報システムについて

当市と同じく、緊急情報メールや市公式LINE、紙媒体での防災マップの各戸配布などで避難情報を発信しているが、それに併せ総合防災情報システムとして独自のアプリを発信している。河川に設置された水位計データや気象庁データ（土砂キキクル）とも連携し、避難情報が発令された地域を1km毎の格子で色分けしてわかりやすく表示することで、地震の地域が対象となるリアルタイムで把握できる。

システムの普及に際し、高齢者などを中心に利用手順の説明会などを多々行って、周知徹底に努められており、発信する管理者側でも使いやすさの調整や実践方式の災害訓練等を行っているとのこと。

災害の種類により避難経路や避難所が替わることを考えると、リアルタイムな情報発信は命を守る最重要項目となることから、当市にも有益であると感じた。

○神奈川県秦野市（7月30日(水) 9:00～10:00)

・はだの歴史博物館について

大手企業誘致の関連で、秦野市テクノパーク構想（先端技術系工業を主体として全体調和を創造した工業団地）として古墳群や出土遺物の保存や復原を行ったとのこと、多くの歴史文化を発信されている。

歴史博物館というだけでは来場者数が伸びないことへの対応として、キッチンカーイベントや自然の中でのヨガ教室など、様々なイベントを駆使して年間利用者を5万人近くにしており、入場無料も相まって市民の散歩コースや休み処としても活用されているとのこと、当市に参考となる事例であった。